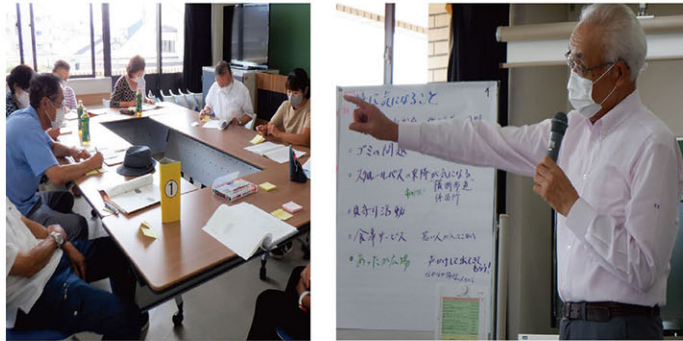


策定委員会開催日程		
日 時	委員会名	内 容
令和2年9月10日(火)	準備委員会	西部地区社協 臨時理事会に説明
令和3年1月29日(火)	準備委員会	西部地区社協役員に説明
4月30日(金)	第1回委員会	委員長・副委員長の選出及び設置要綱の承認
5月20日(木)	第2回委員会	目指す地域像候補(11件)の検討
6月24日(木)	第3回委員会	目指す地域像の決定
7月29日(木)	第4回委員会	地域課題(150件)の目標別グルーピング(グループワーク)
10月 4日(月) 7日(木)	第5回委員会	「地域づくり」「体制づくり」「人づくり」(グループワーク)
10月18日(月) 11月 8日(月)	グループ代表者会議	内容確認・まとめ
12月 8 日(水)	第6回委員会	最終案の決定



策定委員会の様子



西部地区小地域福祉活動計画策定委員会 ◎委員長 ○副委員長					
No.	氏 名	役 職 等	No.	氏 名	役 職 等
1	◎ 鴫 巢 隆 美	西部地区協議体委員長	15	木 下 格 太 郎	西部地区あったか思いやりの会
2	○ 室 井 敏 雄	西部地区協議体副委員長	16	片 桐 興	西部地区社会福祉協議会
3	石 井 良 幸	西部地区協議体委員	17	加 藤 ハ ツ イ	西部地区社会福祉協議会
4	細 岡 昇	西部地区協議体委員	18	瀧 川 昌 之	西部地区あったか思いやりの会
5	中 村 修 子	西部地区協議体委員	19	高 野 陽 子	民生委員・児童委員
6	長 谷 川 江 里 子	西部地区協議体委員	20	増 田 道 子	民生委員・児童委員
7	石 原 勝 子	西部地区協議体委員	21	尾 引 知 子	こども育成会(赤堀東)
8	阿 美 好 子	西部地区協議体委員	22	大 槻 睦 美	西部地区主任児童委員
9	前 田 則 隆	西部地区協議体委員	23	大 金 晴 美	美原児童クラブ
10	高 松 奈 緒 美	西部地区協議体委員 (在宅介護支援センター監)	24	平 田 智 子	わくわく児童クラブ
11	田 村 正 幸	西部地区あったか思いやりの会	25	林 麻 子	大田原中学校PTA
12	斎 藤 憲 二	西部地区社会福祉協議会	26	藤 田 謙 治	西原小学校PTA
13	関 谷 み つ 枝	西部地区社会福祉協議会	27	平 久 江 成 美	西部地域包括支援センター
14	磯 真 一	西部地区社会福祉協議会	28	藤 田 善 一	西部地区第2層コーディネーター

発行年月：令和4年3月 編集：大田原西部地区社会福祉協議会 連絡先：大田原市社会福祉協議会(☎23-1130)

☆地区社会福祉協議会とは？
 地域福祉は、地域みんなの**ふだんのくらし**のしあわせを、みんなで考え、みんなで進めます。
 地区社会福祉協議会(地区社協)は、地域の**ふくし**のために、「自分たちの地域を自分たちで良くしていこう」という、地域に暮らすみなさんが主役の活動です。

☆協議体とは？
 地域の困りごとを、みんなで**話し合い**、地域資源を活用しながら、みんなで力を合わせて解決していくように、**支え合い**の仕組みづくりを進めています。

☆あったか思いやりの会とは？
 見守りが必要な方が、慣れ親しんだ地域で、安心して自立した生活ができるよう、**見守り**や日頃の**生活支援**など、地域ぐるみで支援体制をつくっています。

西部地区 助け合う心が通うまちづくり計画

《第1次 小地域福祉活動計画 2022年度～2026年度》

小地域福祉活動計画って？

将来を見据え、私たちが住んでいる地域の良いところや課題などを話し合い、みんなで協力しながら「ささえ合いの地域づくり」(互助・共助)を進めるための「大田原西部地区社会福祉協議会」の計画です。

西部地区の人口構成等

(2022年1月1日現在)

人口	年少人口(0～14歳)	1,973人	自治会数	9自治会
	生産年齢人口(15～64歳)	9,527人	世 帯 数	6,491世帯
	高齢者人口(65歳以上)	3,184人	高齢化率	大田原市 30.40%
	西部地区合計	14,684人		西部地区 21.70%

西部地区の特色

西部地区は、大田原市中心部より西に位置し、北から南に南大通り(3.3.1号線)、東から西に国道461号線が通り、道路沿線にはデパートや大型ショッピングセンター等が軒を並べ、地区の中心街として賑わいを見せている。近くには西原小学校、大田原中学校があり、隣接する美原公園には桜が咲き誇り、訪れる人に春を迎えた喜びを満喫させてくれる。園内には、県北体育館や陸上競技場等があり、外周のジョギング走路では、早朝からウォーキング等利用者がとても多く、市民の健康増進に一役かっている。また、西部地区は9自治会で結成されており、世帯数は6,000世帯を超えている。近年、当地区も少子高齢化は進んでいるが、高齢化率は他地区に比べて低くなっている。さらに、毎年実施している「あったか広場」は大勢の参加者で活況を呈しており、多世代交流と地域活性化の大きな力になっている。また、西部地区防災連絡協議会が発足し、新たな地域活動の和が広がりをみせている。
 加治屋にある西郷神社は、西郷隆盛の弟従道(薩摩藩鹿児島城下の加治屋町出身)が明治14年この地に「加治屋開墾場」を開設したのが始まりで、毎年8月に例大祭が行われている歴史ある地域である。



あったか広場

西部地域の**地域づくり**は**人づくり**です。3つの目標を通して人が育ちます。
「あったかな 笑顔あふれる西部地域 ～いつでも 誰でも 声をかけ愛 つながる和～」を目指して
みんなで取り組むこと

目 標		実現のための主たる具体目標(取り組むこと)	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	関連機関・団体	
しくみづくり	若者の視点を取り入れながら、自治会のあり方や地域の組織を見直し、後継者の育成を目指します。	① 自治会のあり方について多世代で話し合い、自治会の後継者育成や自治会の良さを発信していきます。	詳細企画・検討	検討・実施	継続			・自治会 ・育成会 ・地区社協 ・協議体 ・思いやりの会 ・自治公民館 ・ほほえみセンター ・フードバンク ・消防団 ・PTA ・学校(小学校・中学校・高校・大学) ・老人会 ・地区防災連絡協議会 ・学童保育館 ・民生委員児童委員、主任児童委員 ・福祉委員 ・幼稚園、保育園 ・青年会議所 ・商工会議所	
		② ゴミ出しのルールやマナーを働きかけたり、小・中学生と一緒に清掃活動を行うなど、住みやすい安心安全な環境づくりに努めます。			検討・実施				
		③ 自治会組織(自治会、育成会、老人会等)や地域組織(地区社協、思いやりの会、協議体、西部地区防災連絡協議会等)の役割を明確にし、必要に応じて見直しを検討します。			検討・実施				
		④ 誰もが気軽に集まることができるように、ほほえみセンターや自治公民館等の活用を検討します。		検討・実施	継続				
つながりづくり	地域に暮らす人たちを知り、声をかけあいながら、地域の助け愛の力を高めます。	① みんなで声かけを進めるために、家族・ご近所・自治会・地域で「あいさつ運動」を展開します。		検討・実施	継続				
		② 子どもたちの登下校の時間に合わせて、散歩したり、清掃をしたりして、『ながら見守り』を広めます。		検討・実施	継続				
		③ 思いやりの会の利用者や見守り会員を増やすとともに、緊急時・災害時でも分かりやすい連絡体制づくりを進めます。			検討・実施				
		④ 自治会、中高生・大学生と一緒に、新しい情報発信手段を用いて、ひとり親世帯や外国人を含め地域に暮らす人たちとの交流事業を進めます。			検討・実施				
きずなづくり	学校と地域、人のネットワークを活かしてみんなが活躍し、交流できる地域を目指します。	① 若者や子育て世代の悩みを受け止め、気軽に相談できる場をつくり、親子で参加できる事業を実施します。			検討・実施				
		② 人のネットワークを活かし、みんなが活躍できる地域づくりを進めます。			検討・実施				
		③ 学校と地域が連携し、小・中学生、高校生、大学生が身近な地域で、ボランティア活動の体験やチャレンジできる機会をつくりまします。			検討・実施				
		④ 世代を超えたきずなを深めるために、中学生も含めて話し合い、あったか広場のリニューアルを進めます。	検討・実施	継続					
			計画実施の詳細は、西部地区協議体活動を通して検討しながら進める						

みんなが笑顔になる！ みんなが元気になる！ 西部地域の活動と一緒に参加してみませんか



給食サービス

